

# 株式会社ワコール 様

全国の販売店でセキュアな仮想デスクトップ環境を導入し、運用の手間・コストの削減と高い拡張性・柔軟性を実現

株式会社ワコール様(以下、ワコール様)は、全国に展開する販売店で、長年、店舗用端末としてWindows XPベースのシンクライアントを利用してきました。しかし、端末の老朽化をきっかけに、システム基盤及び運用業務のアウトソーシングを決断。富士通のシンクライアント端末「FUTRO ME734」に加え、「仮想デスクトップサービス V-DaaS」およびQ&A対応などを行うヘルプデスクを採用し、運用・保守業務の効率化とセキュリティ強化の実現に成功しました。



## 課題

- シンクライアント端末の老朽化にともなう修理等で情報システム部門の負担が増大
- 自社でのサーバ運用にともなう運用負荷とセキュリティへの不安
- 勤怠管理などの新しい業務システムの導入には、サーバだけでなく端末の設定も必要

## 効果

- 新しい端末へのリプレースとヘルプデスクの支援で情報システム部門の運用負荷軽減
- 富士通のデータセンターでの運用による負荷の軽減とセキュリティの強化
- サーバが仮想環境になったことで端末の設定が不要になり、業務システムの追加・拡張が容易に

## 製品・サービス

FUJITSU Managed Infrastructure Service 仮想デスクトップサービス V-DaaS

## 採用のポイント

- ・高いセキュリティと拡張性
- ・端末展開時からのヘルプデスクの支援と手厚いサポート
- ・コスト

### シンクライアント環境の老朽化による運用負荷増大とセキュリティ強化が課題に

ワコール様は、百貨店をはじめとする全国の販売店で商品を扱っています。各販売店では、ビューティーアドバイザー（BA）と呼ばれる専門の販売員がお客様の接客を担当しています。

各販売店には、店舗用端末としてWindows XPベースのシンクライアント端末が導入され、売上報告や棚卸しなどの業務に活用されていましたが、このシステムの老朽化が課題となっていました。

情報システム部 グループ情報システム課 田中

幸子氏は、次のように説明します。

「従来のサーバ環境は、自社構築型であったため、運用コストが課題でした。また、サーバ及び店頭端末の保守切れが2016年3月であった事に加え、導入後約7年が経過した店頭端末は、物理的なトラブルを含めて故障頻度が高まり、月々の修理費用がかさんでいました。」(田中氏)

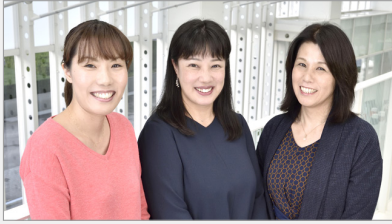
こうした理由から、同社は既存のシンクライアント環境のリプレースを決断し、新しい環境の選定を開始しました。

### 高いセキュリティと仮想化基盤による拡張性を評価して富士通のV-DaaSを選定

システムの検討は2014年4月から開始。選定にあたっては、主にセキュリティ強化と拡張性、コストが重視されました。

Windows 7になることで端末のセキュリティが強化されるのは確実でしたが、それに加えてサーバのセキュリティ強化が重要でした。また「拡張性」も求められました。

店舗端末は売上報告や在庫確認で活用されていましたが、今後を考えると、新しい機能を容易に追加できることが必要だったのです。



(左より)  
株式会社ワコール 情報システム部 基幹情報システム課  
**脇田 佳世 氏**  
株式会社ワコール 情報システム部 基幹情報システム課  
**丸谷 美知子 氏**  
株式会社ワコール 情報システム部 グループ情報システム課  
**田中 幸子 氏**

**株式会社ワコール様 概要**

所在地 | 京都府京都市南区吉祥院中島町29  
代表者 | 代表取締役会長 塚本 能交  
創立 | 1935年6月20日  
従業員数 | 5,289人 (単体) ※2017年3月末現在  
URL | <http://www.wacoal.jp/>

こうして、最終的に選択されたのが、富士通の仮想デスクトップサービス V-DaaSでした。V-DaaSを選んだ理由を、田中氏は次のように説明します。

「V-DaaSは富士通が運用するデータセンターの仮想環境で提供される点を高く評価しました。富士通のデータセンターに運用を任せることで、運用負荷が軽減し、高いセキュリティを確保できるのに加え、仮想環境なのでシステムの追加・拡張も容易になると判断しました。もちろん、コスト面も非常に満足できる内容でした」(田中氏)

構築は2015年4月からスタート。まずは、キックアップ用のマスターの中身を十分に検討し、それが決まってから各販売店に、順次展開していきました。また、導入にあたっては富士通のヘルプデスクが重要な役割を果たしたと田中氏は説明します。「2015年8月から全国の販売店に、順次、展開していきました。同時に富士通にはヘルプデスクを立ち上げてもらい、新しい端末を展開した販売店からの問い合わせに対応してもらいました。その結果、あとで展開した店舗になるほど、充実したマニュアルを同梱できました」(田中氏)

**運用負荷の軽減とセキュリティ強化、高い拡張性を実現**

こうして、2016年2月、1580台の新しい端末が全国のすべての販売店に展開され、V-DaaSによる新しいシンクライアント環境が本格稼働を開始しました。

V-DaaSの仮想デスクトップは、富士通が運営するデータセンターから提供され、その運用管理は富士通アドバンスドLCMセンターが一括で行います。このため、自社データセンターで運用していた従来に比べると、セキュリティ強化と信頼性が向上し、運用負荷も大幅に低減しました。

また、新しいシステムの追加も容易になりました。実際に、V-DaaSの導入後、新しい勤怠管理システムが追加されました。情報システム部 基幹情報システム課 脇田佳世氏は、次のように説明します。「従来、販売店の勤怠管理は紙を使っていましたが、V-DaaSの導入後、新しい勤怠管理システムを導入しました。以前だと、新しいシステムを導入する際には、サーバの設定に加えて端末を1台ずつ設

定する必要がありましたが、仮想環境のV-DaaSはサーバの設定だけですみました」(脇田氏)

また、販売店からヘルプデスクへの問い合わせ状況を、情報システム部門がリアルタイムに把握可能になったのも大きい成果でした。情報システム部 基幹情報システム課 丸谷美知子氏は次のように説明します。

「従来、販売店からヘルプデスクへの問い合わせはExcelファイルにまとめられ、1週間に1回、我々に送られる運用でした。それが新しいシステムでは、ヘルプデスクの担当者が問い合わせ内容をWebに随時入力する仕組みになり、問い合わせの状況をリアルタイムに把握できるようになりました」(丸谷氏)

**トータルソリューションで、働き方改革をはじめとする業務改革を支援**

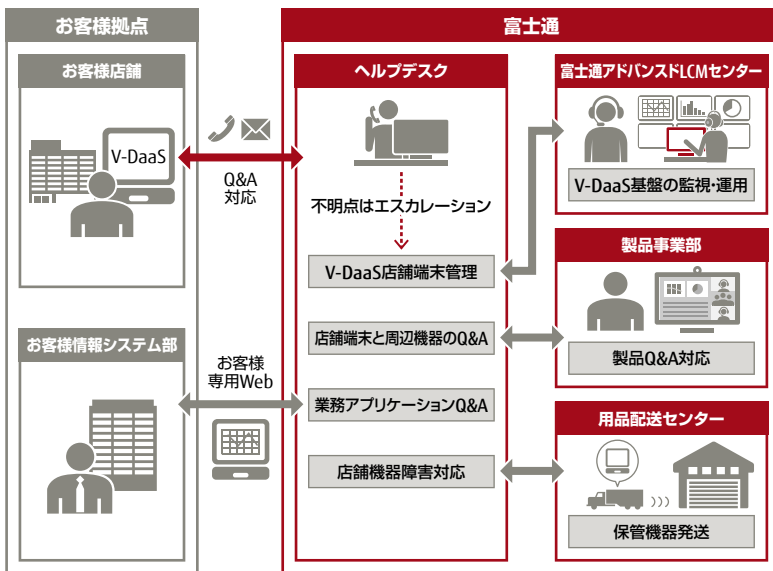
「働き方改革」に取り組むワコール様は、専用のワーキンググループを立ち上げて、取り組みをさらに加速しています。

「正社員や契約社員などの働き方に合わせて、どうすれば働きやすいのか、検討を重ねています。ワーキンググループには、情報システム部門の担当者も参加していますので、そこで議論されるさまざまな施策を支える技術の1つとして、V-DaaSが活用される可能性は、十分にあると考えています」(田中氏)

また、今回、新しい勤怠管理システムをスムーズに導入できたことを受け、新しい業務システムを追加する基盤としても、V-DaaSへの期待が高まっています。システムのインフラとしてはもちろんですが、ヘルプデスクを含めた富士通のサポートが非常に手厚いことも、その理由です。

「富士通のヘルプデスクは、午前と午後でスタッフが変わっても話がきっちり伝わり、チーム内で情報がしっかり共有されているのを感じます。情報システム部門としてはとても信頼できます」(田中氏)

V-DaaSの導入・展開を通じてワコール様の販売店の業務効率化とセキュリティ強化に貢献した富士通は、今後も、ヘルプデスクやサポートも含めたトータルのソリューションで、ワコール様の働き方改革、ビジネスを支援していきます。



本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものです。(取材日：2017年10月)  
また、改善などのため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

2018年1月

**製品・サービスについてのお問い合わせは**

**富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200**  
受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

**富士通株式会社** 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター